※令和４年度以降入学生用

学校番号	102

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	(学)美術表現	単位数	2 単位	年次	3 年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

具体的なものを見て描くことからはじめ、絵画、立体、デザインの各分野で実制作することでスキルや美的センスを養い、自分を表現することを学びます。
過去や現在の古今東西の美術に触れることでより広い範囲で美的な体験を経験し、自分の感性を深めましょう。
また、他者の作品を鑑賞、批評することで、より深く、美術作品のよさを感じ取れるようになりましょう。

2　学習の到達目標

幅広い創造活動を通じて美的体験を豊かにし、美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・美術表現の果たす役割について関心を持ち、各分野の特色や表現の意義を主体的に考えようとしている。 ・美術の多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	・感性や想像力を働かせ、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。 ・材料や用具の特性を理解し、より効果的な表現方法を選択し、主題を追求して創造的に表現している。	・自分の作品をもっとよくするためにはどうすればいいか、自分の作品と語り、試行錯誤を通して自分のこだわりを発見することを学んでいる。 ・創造的な美術の表現をするために必要な技能を身につけ、意図に応じて、表現方法を工夫している。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	デッサンから水彩へ	【絵画】 ◆静物モチーフを鉛筆で表現する。 ◆立体の捕らえ方、紙への表現の方法を学ぶ。 ◆水彩絵具で静物や風景を,どう「表現」するか、ものの見方、感じ方を考える。	a:鉛筆や水彩絵具の使い方を理解し、強弱などの変化をつけることができたか。 b: 線の表現について理解し、その美しさを表現することができているか。 c:透明水彩の特性を理解し、色を重ねて塗ることで物の再現や場の雰囲気の深みを表現することができているか。	作品 制作プリント 観察	作品 制作プリント 観察	作品 観察
	旭高校のパンフレットイラスト デザイン	【デザイン】 ◆「伝達」としてのデザイン表現の方法、スキルを学ぶ。 ◆テーマの設定、画面構成、配色、彩色等を実際にイラストボードに制作しながら学ぶ。 ◆どうすれば他者に伝わりやすいかについて理解する。 ◆絵具、筆、マスキングテープなどの使用を学ぶ。	a: 伝達表現に関心を持ち、表現効果を工夫して構想を練り、見通しをもって表現できたか。 b:意図に応じてアクリルガッシュの技法や特性を生かし、計画や手順を吟味して表現できたか。 c:構図の吟味や色の塗り重ねなど、テーマを表現するため、試行錯誤することができたか。 b: c:	作品 制作プリント 観察	作品 制作プリント 観察	作品 観察
二学期	ゴムはんで手ぬぐいをつくる 版画	◆凸版画の手法でゴム印を繰り返しスタンプすることで手ぬぐいをデザインする。 ◆具体的なものを単純化して表現する。 ◆効果的な配色、リフレインによるデザインについて考察する。 ◆テーマ、構成、配色について工夫をこらし、より魅力的な手ぬぐいづくりを理解しする。	a:凸版、凹版、孔版、平版４つの版の違いを理解できたか。偶然現れるかすれなどの良さを知り、版画の特性を理解できたか。 b: ゴム版制作、試し刷り、本刷りの工程を理解し、作品を充実させることができたか。 c:ものを単純化した版制作、配色、リフレインの効果を考えながらの刷り(スタンプ)で、魅力的な手拭いが表現できたか。	作品 制作プリント 観察	作品 制作プリント 観察	作品 観察

※令和４年度以降入学生用

	メモスタンドをプロデュースする　立体造形	【立体】 ◆メモスタンド(既製品)に石粉粘土で作ったオブジェを組み合わせ、魅力ある製品にする ◆メモスタンドに何か「リアル」な立体を組み合わせることで驚きを生む表現を考える。 ◆何かを立体で「リアル」に表現するにはどうすればいいかを実際の制作を通じて学ぶ。、 ◆彩色に工夫をこらし、リアル感を高める。	a:リアルな何かを粘土で作成し、メモスタンドに組み合わせることで魅力ある製品にすることを主体的に表現しているか。 b: 彫塑の道具や用具の特性を理解し、表現を創意工夫しているか。モデリングの創作の進め方を理解し、計画的に創作できたか。 c:ものをリアルに見せるための配色、混色、彩色方法を工夫し、自分の表現になっているか。	作品 制作プリント 観察	作品 制作プリント 観察	作品 観察
三学期	鑑賞	◆自分、及び他者の作品を鑑賞し、その良いところ、気づいた点を書く。 ◆自分の作品について書かれたものを読むことで作品の見方について考える。	a:作品をじっくり鑑賞、そのよさや魅力に気づき、文章化することができているか。 b:自分が気付いた点を作者に伝わるよう、文章に工夫があるか。 c:自分の作品について書かれた文章を読み、新しい気づきがあったか。	鑑賞プリント 観察	鑑賞プリント 観察	プリント 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度